

<連続繊維補強土工について>

当現場で法面を保護する目的で採用（工事進捗状況④法面工）している土木技術を1つ紹介します。今回紹介する技術は、連続繊維補強土工という技術です。砂と繊維を混ぜ合わせた“強くて頑丈な土”で、斜面を守る技術です。地中にしっかりとはりめぐらされた木の“根っこ”がヒントとなって開発されました。

以下に示す2つの手順によって工事を進めていきます。

・作業手順

- ①「連続繊維補強土工」
砂とポリエステル繊維をジェット水とともに斜面に吹き付けます。
- ②「植生工」
斜面の表面に種子や苗木を植えて、緑豊かな環境を作ります。



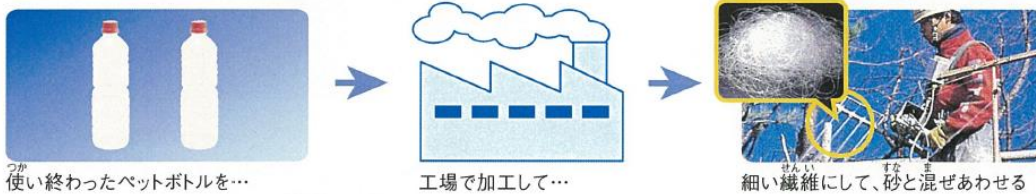
①連続繊維補強土工

② 植生工



・繊維について

連続繊維補強土工で使用している「繊維」は、みなさんが使い終わったペットボトルをもとに作られています。リサイクルすることで、ゴミを減らし、資源を有効活用しています。



<県道散水> 引き続き地域美化活動に努めてまいります



粉じん対策および路面清掃、納涼効果として、散水車による散水を行っています。

恵下埋立地(仮称)建設工事 工事だより

第10号
(2021年05月)



【お問い合わせ先】

施工者：大林・洋林・宮川建設工事JV(発行)
安佐南区沼田町大字阿戸166番地
TEL(082)-830-4007

発注者：広島市環境局施設部
恵下埋立地建設事務所
TEL(082)-241-7836

<工事進捗状況（令和2年11月～令和3年4月）>

<現況と今後の予定>

第1期埋立地の造成が完了し、令和3年1月から遮水シートの施工に着手しました。

現在は、浸出水調整池工、貯留えん堤工、造成工、法面工、表面遮水工、雨水集排水工などの工事を進めています。

今後も濁水の発生、土砂の流出に注意しながら、浸出水処理施設および管理棟施設などの他工事とも作業調整を行い作業を進めていきます。

① 浸出水調整池工



浸出水調整池の躯体工事を進めています。

② 貯留えん堤工

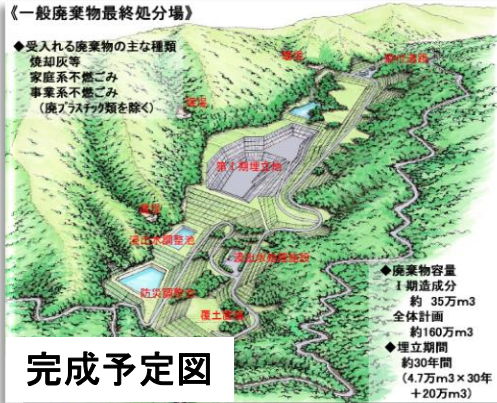


貯留えん堤の法面に植生基材吹付工を行いました。

③ 造成工



岩盤部の切土掘削を行っています。



完成予定図



2021年4月15日撮影

④ 法面工



連続繊維補強工を行っています。（詳細は裏面を参照）

⑤ 表面遮水工



第1期埋立地内の遮水シート敷設および固定工の打設を行っています。

⑥ 雨水集排水工



管理道路に沿って雨水排水施設の設置を行っています。